

## 第177回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日 時 令和4年11月15日(火) 午後3時～午後4時50分  
場 所 402会議室  
出席者 7名  
峯岸正雄、高橋勝緒、磯村史織、高橋絹世、友國洋、西沢和美、渡辺康三  
傍聴者 なし  
事務局 環境課主幹 阿部、中島

### 1 開会

- 会長あいさつ

### 2 議題

(1)第3次和光市環境基本計画実行計画令和3年度実施状況評価について

《事務局説明》

- ・各委員の方に実施状況評価に対する意見等をいただき、事務局から後日まとめて回答したい。

**意見・質問等**

- (会員) 番号1:「COOL CHOICE」とは何か。  
→ (事務局) 環境省が定めているCO<sub>2</sub>の発生を抑えるための取り組みである。
- (会員) 番号2: 太陽光発電設置のため、公共施設の屋根貸しはしているのか。  
→ (事務局) 実施している施設としていない施設がある。  
→ (会員) 自衛隊官舎の屋根に太陽光発電を設置出来ないのか。官舎を公共施設として捉えて、まず公共施設からはじめ、その後民間に推進していくような働きかけはできないのか。  
→ (会員) 「わぴあ」の様な施設に設置できたら環境施策のアピールになるのではないか。学校の屋根をもっと活用できないのか。  
→ (会員) 災害時、再生可能エネルギーによる電力を活用できる小中学校はあるのか。  
→ (事務局) まだ、検討を進めていく段階である。  
→ (会員) 活用できる学校がないなら、評価が○はおかしいのでは？  
→ (会員) 市が動くよう、ここに出た意見を庁内に伝えて欲しい。  
→ (事務局) 庁内でフィードバックさせる。  
→ (会員) 関係課とあるが、中身を細分化して評価する方法もある。  
→ (事務局) 今ある組織が続くとは限らないので、関係課と表示している。
- (会員) 番号10: 取組状況の評価を◎としている課があるが、バスの利便性がよいとは思えない。公共交通計画を策定しただけで達成となるのか。  
→ (会員) 自動車に依存しないライフスタイルへの変換を図るため、取り組みの一つとして計画策定しているのであれば、評価すべきなのではないか。

- (会長) 和光市は二酸化炭素排出削減目標を掲げ、それに向けて取り組んでいるが、この評価からは、削減に向けて全体的にどう動いているのかがわかりにくい。行政の環境施策の評価は定量化しにくく、抽象的で難しくなる。
- (会員) 番号15：自然生態系分野の評価が△なのは残念である。自然との共存を目指した街づくりをしてほしい。番号17：「貴重な動植物の調査と市民への公表」は啓発が目的なのか。評価が△なのは、動植物の保全が出来ていないからなのか、啓発が出来なかったからか。
  - (事務局) 実行計画内容として、「貴重な動植物を調査・保全し、その結果を公表し、啓発につなげる」と掲げているので、啓発につなげていくことが目的だと思っている。
  - (会員) 貴重種調査とは、具体的に何をしようとしたのか。
  - (会員) 番号15及び17は、市民が自然環境を守ろうとしている事に対して、市の姿勢が反映してくる項目だと思っている。
  - (会員) 公園みどり課と協働で緑地保全を行っているが、貴重種の公表を環境課がするのであれば、ふれあいの森の貴重種を環境課で公表してもらいたい。また、環境課が現場視察をして、状況を共有して欲しい。自然環境マップを市民に配布するだけでは、動植物の公表にはならないと思う。
- (会員) 番号24～26：小中学校の児童生徒が農業や自然にふれあうことができる施策だ。農地を利用し、子供には五感を使って体験してもらいたい。
- (会員) 番号58：コロナ禍の影響で、校外学習の機会が減っている。以前は小学校の児童が湧水見学に来ていたが、最近は見学会が実施されてない。保全活動をしている団体等を利用して、もっと環境学習に取り組んでほしい。
- (会員) 番号34：市内に多くのマンションが建設されている。学校に隣接する場所にマンションが建設されたりして、景観を重視したまちづくりとは思えない。
  - (事務局) 和光市の様な大都市に隣接する自治体は、昔ながらの街並みを守るというより現状維持することが目的となっている。建築基準法などをクリアしていれば制限できない。相続が発生した場合、所有し続けるにも経済的負担もあるので、売却することもある。人が流入してくれば、税収が上がって豊かになるというメリットもある。
  - (会員) マンションや戸建てが建つのは良いことかもしれないが、みどりの保全や景観の観点から、暮らしがよくなるのか疑問である。
  - (会員) 平成22年に和光市景観10選を選出した。毎年、多くのビルやマンションが建ち景観も変わってきている。保存していく場所を共有し、指定する必要があるのではないか。
- (会長) 番号16：昨年度、1年間かけて「みどりの基本計画」の策定に携わった。みどりの保全が実際に進んだわけではないため評価を△としているが、計画の実現に向けて段取りを整えたという観点で評価を◎にし、今後も毎年度◎を続ける強い意志を持って取り組んでもらいたい。
  - (会員) 「みどりの基本計画」と「和光市環境基本計画」は両輪となって動くものだと思う。お互いに協力しあって取り組んでもらいたい。

- (会長) 第三次和光市環境基本計画を策定した際、ゼロカーボンシティ宣言の表明を当時の市長に提言した。再度、宣言の表明を提言したい。和光市も宣言して市の機運を高めて欲しい。緑を守ることとゼロカーボンシティの宣言を抱き合わせで行うと、よりよい表明になるのではないか。

(2)その他

《事務局》

- ・委員による評価欄について、コメントや文章で残している方がいれば提出をお願いしたい。